

## 2018年度の普及啓発活動について

## 1 団体等向け普及啓発

○平成30年度災害時における協力等に関する協定締結事業者会議

ア 実施日 平成31年2月27日

イ 対象 民間事業者（団体）等

## 2 職員向け普及啓発

○各部局主催の職員研修

ア 実施日 平成30年4月～平成31年3月

イ 対象 所属職員（924名）

## 3 普及啓発資料

○第66回愛知県社会福祉大会資料への掲載

ア 広報・啓発項目名 「共に暮らせる社会に向けて」

イ 内容 障害者差別解消法及び愛知県障害者差別解消推進条例に基づく啓発

## 4 一般県民向け普及啓発

○障害及び障害者に対する県民理解促進事業

## (1) 目的

障害を理由とする差別については、県民一人一人の障害に対する知識不足や障害者に対する意識の偏りに起因する面が大きいことから、差別のない社会を実現するための妨げとなるこうした諸要因を取り除くため、県民の障害についての知識及び理解を深めることを目的とする。

## (2) 事業内容

NPOが実施主体となり、NPOの活動内容やその地域の特色を生かした、障害のある方と地域の方々との交流を中心とする啓発事業を自ら企画し、実施するものとする。

## (3) 実施団体数

3団体

(NPOから企画提案を募り、県が設置する企画案選定委員会において優秀企画案として選定された企画提案書を提出したNPOと委託契約を締結)

## (4) 契約期間

平成30年8月から平成31年3月まで

## (5) 委託金額

1団体あたり220千円

## (6) 平成30年度事業内容

	団体	実施地域	実施時期	事業内容	実績
1	特定非営利活動法人ポパイ	名古屋地区	平成30年10月～平成31年3月	障害者のバンド活動にスポットをあて、障害者理解の啓発映像を作成し、作成した映像をネット配信・マスメディアへ周知・企業の研修資料・大学の教材などとして活用促進。	○啓発映像の作成 ○教材資料としての映像の広報PRチラシの作成。(2,000部)
2	特定非営利活動法人愛知県自閉症協会つばみの会	東三河南部	平成30年10月～平成31年3月	農業と福祉の連携をテーマとした講演会を実施。	○講演会2回 ①H31.3.2 「はじめよう農福連携」 参加者:42名 ②H31.3.16 「農業と福祉と企業の連携モデルの可能性」 参加者:45名
3	特定非営利活動法人びすた～り	知多半島	平成30年10月～平成31年3月	障害当事者を中心としたキャラバン隊を高等学校へ派遣し、精神・発達障害への理解を促す講演会を実施。また、自己の障害の特性について学ぶ当事者中心の座学(勉強会)を実施。	○講演会活動7回 時期:H30.11月～12月 場所:県立高校、特別支援学校 参加者:2,792名 ○活動発表会1回 時期:H31.2月 場所:日本福祉大学 参加者:132名 ○座学11回 時期:H30.10月～H31.3月 参加者:116名